

令和5年度 第53回九州中学校バスケットボール競技大会

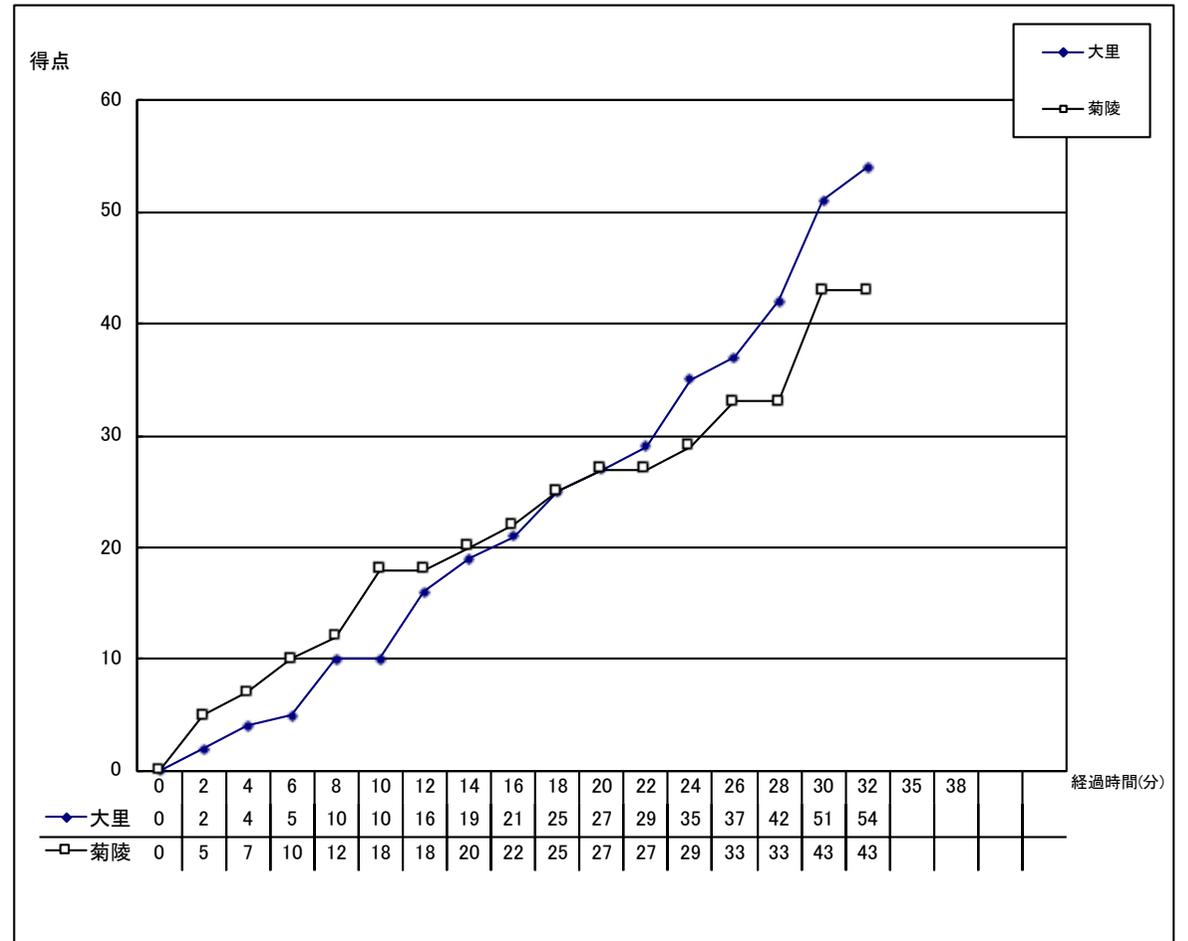
個人データ表

男子 2回戦	令和5年8月9日	9:00 開始
会場：益城町総合体育館	Cコート	第1試合
主審：井元 誠	副審：徳丸 昂 村上雄磨	

☆ 大里 沖縄	54	10 11 14 19	1 Q 2 Q 3 Q 4 Q	12 10 7 14	43	菊陵 福岡
---------------	----	----------------------	--------------------------	---------------------	----	----------

大里												
番号	氏名	得点	3P	3P試投	2P	2P試投	FT	FT試投	反則	DF. RE	OF. RE	RE計
4	兼箇段冨季											
5	大城泰也	7	2	2		2	1	2	1	1		1
6	新垣仁睦	2		1		1	2	2				
○7	大城 蓮	6		1	3	9		2	3	1	1	2
8	亀山蓮斗											
9	仲村絆希											
○10	松田琉空	10	1	4	2	11	3	6	4		1	1
○11	藤田哲也	4		1	1	3	2	3	3	2	3	5
12	城間勇輝											
13	大城璃空											
14	平良悠次											
15	普天間一葵											
16	仲村優都											
○17	平安山英龍	4			1	2	2	2			9	9
○18	金城俊蒼	21	1	7	3	9	12	17	1		6	6
コーチ	大城 盛一朗											
合計		54	4	16	10	37	22	34	12	19	5	24
成功率			25.0%		27.0%		64.7%					

菊陵												
番号	氏名	得点	3P	3P試投	2P	2P試投	FT	FT試投	反則	DF. RE	OF. RE	RE計
○4	進 大地	12		2	6	10		2	5	2	1	3
5	坂本 理輝								2		1	1
6	田尻 公平									1		1
○7	中村 宗太郎	13			3	9	7	8	2	2	1	3
○8	堀 結翔					1			4	1	2	3
○9	市川 大椰	5			2	8	1	2	2	1	1	2
10	山内 琥太郎											
11	小堤 崇太											
○12	中山 彪牙	5			2	4	1	2	5	3	2	5
13	橋原 侑誠								2			
14	村田 流星	2		3	1	3			3			
15	矢野晴輝											
16	古大内 雄陽											
17	高森 央	6	2	9							1	1
18	竹縄 壱琉											
コーチ	扇山 龍之介											
合計		43	2	14	14	35	9	14	25	10	9	19
成功率			14.3%		40.0%		64.3%					



《戦評》

1 Q：大里中（沖縄県2位）対 菊陵中（福岡県2位）の一戦。両チームともにハーフコートマンツースター。互いに相手の様子を見ながらの静かな立ち上がり、先制点は菊陵#7のドライブからの得点、対する大里は#10のフリースローからゲームが動き出す。その後、菊陵は#9#7のカットからの速攻やドライブなどで着実に得点を増やしていく。一方大里は、外からのドライブを封じられ、攻め手がない中、#18のフリースローや3Pで点差を詰めていく。大里10-12菊陵で終了した。

2 Q：開始早々、菊陵は#4のミドルやリバウンドシュートで連続得点し、8点差がつく。大里たまたまタイムアウト。その後、大里は#10#5の連続3Pで2点差とするも、菊陵#4がミドルシュートで4点差とした。ここで大里は菊陵#4をフェイスガードで守り、菊陵の得点源を押さえ込む。その後、一進一退が続き、大里21-22菊陵と、菊陵1点リードで前半を終えた。

3 Q：大里は2分経過時点、#18のフリースローで逆転した。大里25-24菊陵。菊陵は#4がフェイスガードで抑えられ、攻め手がない。オールコートディフェンスで守るが、大里は#18を中心に攻め、#10のカットイン、#17のリバウンドシュートで着実に加点し点差を広げていく。大里35-29菊陵で3Qを終了した。

4 Q：大里#7のドライブからの得点でスタート、対する菊陵は、#7のスティールからの速攻で反撃する。残り3分、大里#11のリバウンドシュートで7点差がついたところで、菊陵は後半1回目のタイムアウト。その後も互いにフリースローを決め点差は縮まらない。ここで菊陵は、後半2回目のタイムアウト。オールコートでのダブルチームを仕掛け、打開を図る。菊陵#17の2本の3Pで追いつけるが、大里は落ち着いてフリースローを決め、大里54-43菊陵で大里が準決勝へと進んだ。菊陵は#7を中心としたスピーディなプレイ、大里は#18を中心とした攻撃、#17のゴール下でのリバウンドが印象的な、緊張感のある好ゲームであった。

戦評記入者 村上 浩之（玉海市立岱明中学校）